

大学コンソーシアム富山 令和6年度「県内企業訪問事業」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 教育連携部会 県内企業訪問事業																								
実施機関名	国立大学法人 富山大学																								
趣旨・目的	<p>県内7高等教育機関の学生が、専門分野（学部学科）や学年が異なる他大学の学生と共に、社会人としての心構えやマナーを学修し、県内企業についての事前研修を行うとともに、実際の就業現場を見て、そこで働く大学OB・OGや若手社員と意見交換を行なうことにより、県内企業の魅力発見及び就業意識の向上を図ることを目的とする。</p> <p>【期待される効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 学生のキャリアデザイン形成支援 ② 就業意識の向上 ③ 県内就職定着の促進 																								
開催日時	<p>1) 事前研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 企業研究は、参加学生が各自で実施する。 ② コース別ミーティング（対面開催/参加必須） <p>（第1日） 9月 5日（木） 8：45～9：25（3コース・6企業/機関） （第2日） 9月 6日（金） 8：45～9：25（3コース・6企業/機関） （第3日） 9月 9日（月） 8：45～9：25（3コース・6企業/機関） （第4日） 9月10日（火） 8：45～9：25（3コース・6企業/機関）</p> <p>2) 職場訪問研修（現地訪問/参加必須）</p> <ul style="list-style-type: none"> （第1日） 9月 5日（木） 9：30～17：00（3コース・6企業/機関） （第2日） 9月 6日（金） 9：30～17：00（3コース・6企業/機関） （第3日） 9月 9日（月） 9：30～17：00（3コース・6企業/機関） （第4日） 9月10日（火） 9：30～17：00（3コース・6企業/機関） 																								
開催場所	国立大学法人富山大学 及び 富山県内企業・機関 （富山市五福 3190 番地） （県内一円/21 企業・2 機関）																								
参加人数	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">・富山大学</td> <td style="width: 30%;">学生 153 名</td> <td style="width: 30%;">引率教員 4 名</td> </tr> <tr> <td>・富山県立大学</td> <td>学生 3 名</td> <td>引率教員 2 名</td> </tr> <tr> <td>・高岡法科大学</td> <td>学生 2 名</td> <td>引率教員 1 名</td> </tr> <tr> <td>・富山国際大学</td> <td>学生 5 名</td> <td>引率教員 2 名</td> </tr> <tr> <td>・富山短期大学</td> <td>学生 64 名</td> <td>引率教員 1 名</td> </tr> <tr> <td>・富山福祉短期大学</td> <td>学生 0 名</td> <td>引率教員 0 名</td> </tr> <tr> <td>・富山高等専門学校</td> <td>学生 3 名</td> <td>引率教員 1 名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td>学生 230 名</td> <td>引率教員 11 名</td> </tr> </table>	・富山大学	学生 153 名	引率教員 4 名	・富山県立大学	学生 3 名	引率教員 2 名	・高岡法科大学	学生 2 名	引率教員 1 名	・富山国際大学	学生 5 名	引率教員 2 名	・富山短期大学	学生 64 名	引率教員 1 名	・富山福祉短期大学	学生 0 名	引率教員 0 名	・富山高等専門学校	学生 3 名	引率教員 1 名	合計	学生 230 名	引率教員 11 名
・富山大学	学生 153 名	引率教員 4 名																							
・富山県立大学	学生 3 名	引率教員 2 名																							
・高岡法科大学	学生 2 名	引率教員 1 名																							
・富山国際大学	学生 5 名	引率教員 2 名																							
・富山短期大学	学生 64 名	引率教員 1 名																							
・富山福祉短期大学	学生 0 名	引率教員 0 名																							
・富山高等専門学校	学生 3 名	引率教員 1 名																							
合計	学生 230 名	引率教員 11 名																							

<p>事業内容</p>	<p>本事業の目的に沿い、学生は、次の「事前研修（対面）」を受講した後、「職場訪問研修（対面）」に参加した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">事前研修（対面）</p> <p>◆コース別ミーティング（令和6年9月5日（木）、6日（金）、9日（月）、10日（火） 8：45～9：25）（コース別に実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引率者進行によりグループリーダー及びサブリーダーを選出 ・学生進行により事前学習内容発表（記録は「Google スライド」を使用） ・意見交換（知りたいこと、聞きたいこと） ・企業への質問事項取りまとめ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">職場訪問研修（対面）</p> <p>◆職場訪問研修（第1日） 令和6年9月5日（木）（9：30～17：00） 3コース（5.企業、1 機関）</p> <p>◆職場訪問研修（第2日） 令和6年9月6日（金）（9：30～17：00） 3コース（6 企業）</p> <p>◆職場訪問研修（第3日） 令和6年9月9日（月）（9：30～17：00） 3コース（5.企業、1 機関）</p> <p>◆職場訪問研修（第4日） 令和6年9月10日（火）（9：30～17：00） 3コース（5.企業、1 機関）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所：富山大学（五福キャンパス）及び県内各企業・機関 ・内容： <ul style="list-style-type: none"> ・コース毎に借上げバスにて各企業・機関を訪問 ・訪問先企業・機関において会社概要、事業内容の聴取 ・就業現場等の見学 ・OB、OG等社員（職員）との交流、懇談、質疑応答 ・帰着後、コース毎に訪問企業等について印象に残ったことや感じたことについて意見交換（振り返り） ・終了後一週間以内にレポートを提出（Google フォーム） </div>
--------------------	--

事前研修 9月5日(木) ~ 9月10日(火)

〈コース別ミーティング〉 (コース別に実施)

- ・参加学生の中からグループリーダー・書記を選出
- ・訪問先での質問事項について意見を出し合って、検討
(グループリーダーが進行、書記は「Google スライド」を使用し記録)

職場訪問研修 9月5日(木) ~ 10日(火)

〈開会セレモニー〉対面開催

會澤富山大学副学長挨拶



職場訪問研修 訪問コース

(第1日) 9月5日(木) 訪問コース

コース名	【午前】訪問企業等	【午後】訪問企業等
1	富山県庁①	(株)インテック
2	北陸コンピュータ・サービス(株)	朝日印刷(株)
3	(株)ゴールドウイン	(株)富山銀行

(第2日) 9月6日(金) 訪問コース

コース名	【午前】訪問企業等	【午後】訪問企業等
4	富山テレビ放送(株)	(株)北日本新聞社
5	北陸電力(株)	日本海ガス絆ホールディングス(株)
6	(株)能作	助野(株)

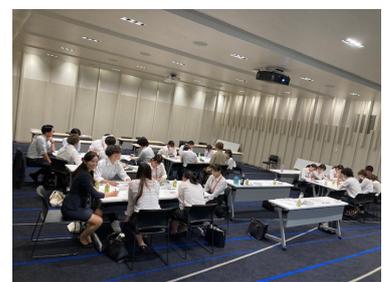
(第3日) 9月9日(月)訪問コース

コース名	【午前】訪問企業等	【午後】訪問企業等
7	(株)富山村田製作所	KOKUSAI ELECTRIC CORPORATION (株)国際電気セミコンダクターサービス
8	(株)カジメイク	北陸コカ・コーラボトリング(株)
9	富山市役所	(株)北陸銀行

(第4日) 9月10日(火)訪問コース

コース名	【午前】訪問企業等	【午後】訪問企業等
10	富山県庁②	あいの風とやま鉄道(株)
11	(株)カラフルカンパニー	(株)アスプコミュニケーションズ
12	YKK(株)	(株)サンリッツ

〈職場訪問：事業内容説明、就業現場見学、社員・職員との交流・懇談・質疑応答〉





【訪問先企業(機関)について印象に残ったことや感じたこと。(学生の参加レポートから抜粋)】

1. 富山県庁では職員の方のお話を聞いて、民間と比べて公務員は福利厚生が充実していることが強みであると感じました。また、公務員試験に向けての勉強のアドバイスもして下さり、大変参考になりました。インテックでは、理系なイメージがあったけれど、文系と理系の割合がほぼ半分であったことが印象に残っています。定期的に面談を行っているという話もあり、とても働きやすい環境が整っていると感じました。(3年)
2. どちらの会社の社員も有給が取りやすいと仰っておられたことに驚きました。なぜなら有給は取りにくいというイメージがあったからです。また、企業の方に大学のうちにおいた方がいいことやとっておいたほうがいい資格について聞いた時皆さん経験が大切！言われ勉強も大切だけど大学生だからこそ、今しかできないことを自主的にしようと感じました。さらにどちらの会社も職場環境を大切にされていると感じました。(1年)
3. 1つの仕事だけで完結せず、他の仕事にバトンタッチして繋ぎ、チームプレイでものづくりに取り組むという会社の構造がとても印象的でした。また、お客様を第一に考えるという点はどの職種においても共通して大切なことであると感じました。(3年)
4. 実際に職場だったり働いている人たちの雰囲気だったりがとても印象に残りました。北陸コンピュータ・サービスのセキュリティの高さや、朝日印刷の工場の規模の大きさなど初めて見てとてもすごかったです。社員の方たちは、自身の企業の商品やサービスに自信を持っていて、私たちの質問に答えるときもとても詳しい補足まで説明していたのがとてもすごいと思いました。(1年)
5. 訪問先企業で印象に残ったことは、どちらの会社も地震などの災害に備えた対策がしっかりしていたことです。北陸コンピュータ・サービスでは、特にデータセンターのセキュリティ対策が印象的で、安心感を抱きました。朝日印刷株式会社では、医薬品の箱や化粧品の箱など、私たちが普段使用する製品のパッケージを製造しており、その精密な印刷技術に感心しました。両社ともに、安全性と品質への高い意識が感じられました。(1年)
6. 2社とも様々なアクティビティを通して、多様な人間と関わることが重要であるとおっしゃっており、コミュニケーションの重要性を再確認できました。また、Goldwinの担当さんが、「迷ったら挑戦」とおっしゃっていて、いつも失敗を恐れて行動に移せない自分にとって響く言葉であり、これから迷ったとしても全て良い経験になると捉えて積極的に行動していきたいと思いました。(1年)
7. 両社とも社員の方々が会社理念を誇りに思いながら生き生きと働いていると感じました。また富山銀行のグループワークでは、自分が気づかなかったことも知れました。仕事も同様で、個人ではなく、助け合いながら築くものだと思います。このような、社員同士の助け合いが多い職場は、新しい仲間がしやすいため、日常も楽しくなると感じました。また人に相談できるという点で、一人で抱え込まない環境だと思いました。(1年)
8. ゴールドウインさんでの富山大学先輩からのお言葉で、迷ったらやってみる。挑戦してみる。というお言葉をいただきました。不安や心配を考え、何事にも挑戦してみて、もし失敗してもそれもまた学びに繋がると考えさせられました。これから資格取得など、沢山のことを頑張りたいという励みになりました。(短大1年)
9. 富山テレビ放送では、私は元々、テレビ局と聞くと、アナウンサーというイメージが大きかったが、様々な部署の力があって番組が支えられているのだと感じた。北日本新聞社は、新聞だけでなく、ウェブでニュースを読めるようなものを取り入れていて、時代の流れに沿って、新聞社のあり方が変化していることを感じた。富山テレビ放送も北日本新聞社も、地域の活性化のためによりよい案を日々考えているという印象が強く残った。(1年)
10. 富山テレビと北日本新聞社に今回訪問させていただき、会社内での事業形態や社内の雰囲気を主に知ることができました。印象に残ったこととして各会社とも社内ですっきりと分業がされていることです。分業をしっかりとすることによって各個人のやるべきことを明確にし、それぞれの作業に集中させていました。また、各分担それぞれでハウレンソウもしやすくなり全体での動きでもスムーズに仕事を進めることができていると感じました。(2年)
11. 私が今回の訪問で特に印象に残っていることは、日本海ガスのDX推進課に勤めている社員様との座談会です。私はDX推進業務に関心を持っていました。しかし、プログラミングやデータサイエンスを扱えるか心配でした。しかし、この社員さんは情報技術を全く知らなかったそうです。この事にすごく驚きました。
今回の訪問を通して、大学で何を勉強するかではなく、何でもいいから深く学ぶ経験が大切な

だと学びました。(1年)

12. 今回訪問した会社の両方に、資格取得を推進する福利厚生が充実していて驚きました。座談会では、福利厚生を利用して多くの資格を取得されている社員の方が実際におられました。このように、働いた後でも自己成長を続けられる環境があると知り、非常に魅力的であると感じました。また、会社によって特有の福利厚生があるなど、どちらの会社も社員の方々にとって働きやすい職場づくりが充実していると思いました。(3年)
13. どちらの企業の担当者様も、大学時代に様々な経験をし、様々な知識をつけることによって少しでも自分の視野を広げておくことが大切であると仰っていた点が印象に残りました。やはり、両者に共通しておっしゃっていた内容であるので、本当にその通りするべきなのであろうと素直に受け取ることができました。(1年)
14. 北陸電力によるCO₂削減の取り組みで、地域の企業や各家庭とも連携して行っているところが魅力だと思いました。地域と密接に関わる地域創生を行うことで、人口減少社会になっている日本の課題である地域活性化を解決する一つの手立てだと思えます。日本海ガスでは、資格取得の奨励が特に目を引きました。座談会で今後の目標を尋ねると、さらに上の級を取得するという回答がもらえ、社会人ライフが充実しているとわかりました。(1年)
15. 私が今回の県内企業訪問でとても印象に残っているのは能作さんも助野さんも会社としての利益だけではなく、社員の働きやすさや環境、地域のことまで考えて様々な工夫をしていることである。特に能作さんに関してはコロナ禍でなかなか満足して外へ出歩くことのできない子供たちのためにわざわざ訪問し、鋳物を学ぶことができるチョコレートキットを配布するなど地域とのつながりをとても大事にしていることが伝わり、感動した。(1年)
16. 能作での「利益を優先しないマネジメント」に非常に衝撃を受けました。企業は利益を確保することが重要だと考えていたため、能作のように利益を最優先せず、TOYAMADOORSなど富山の魅力を伝える活動を行い、営業をかけない方針を取る企業があることに衝撃を受けました。この考え方は私にとって新鮮で、企業のあり方についての視野が広がったと感じました。利益追求だけでない経営方針、能作の独自性に魅力を感じました。(1年)
17. 印象に残ったのは富山村田製作所の社員さんお二人のお話だ。社員目線から見た福利厚生や職場環境といったリアルな話を聞くことはなかなかないのでとても貴重な体験であった。なぜこの会社に決めたのか、就職活動はどのようにしていたか、就職活動をする上で何を重視していたかなど多くの質問をさせていただき、また給料の面や先輩との関係性など、踏み込んだ話までしていただいてとても勉強になった。(1年)
18. 興味のある企業に行ったのでとても良い経験になった。企業の外観などはホームページで見たことがあったが実際に中に入って企業の内側を知れるということはなかなかないと思う。ただ、もう少し社員の方と交流する時間が多ければ良かったなと思った。それに加えて、社員の方の人数ももう少し多ければ質問もしやすかったなと思った。なかなか出来ない経験をさせていただきありがとうございます。(短大1年)
19. 私はカジメイク及び北陸コカ・コーラボトリング、両社とも地域に密着した経営を行っていることが印象的でした。カジメイクは製造途中でほつれなどの不具合が出た商品を地域のイベントで貧困層の方々でも買い求めやすい価格で販売しており、地域社会に貢献していると感じました。また、北陸コカ・コーラボトリングは工場建設にあたって伐採された自然を地域住民にお返しする形で自然公園を建設していたことに印象を受けました。(1年)
20. カジメイクさんでは雨具を使う人がどうすればもっと使いやすくなるかなど利用者のことを第一に考えて商品改良をしているのだなと思いました。コカ・コーラさんでは地球環境に配慮して年々3Rを行動にするために対策を強化して行っているなと思いました。(短大1年)
21. どちらの企業も、地域をより良くしたいという理念を持っていて、「人のために働く仕事」という印象を強く持った。労働時間が決められていたり、週休2日だったりなど、ワークライフバランスが意識された制度が設けられていて、働きやすい環境がしっかり整えられていると感じた。またお話を聞いて、皆さん自信と誇りを持ってその職業と向き合っていることが非常に伝わり、自分もそのようになりたいと思った。(1年)
22. 今回の企業訪問では、市役所においてはなかなか見ることのできない市議会を実際に見たり、実際に勤務している方のお話を聞き、その部署での仕事の内容を聞いたり、今まで気になっていた業務上で英語を使う機会も多いことが知れました。そして、北銀では、はじめに北陸銀行の取り組んでいる事業などについて講義を聴き、貴重な体験でもあったローン審査の体験もでき、金融

機関の堅いイメージを一新することができたと思います。(1年)

23. 私は公務員に興味を持っていたので今回市役所に行くことができよかったです。公務員は窓口での仕事がメインだと思っていましたが、実際に現場に行く人などもいて地域のためにとっても熱心に働いていることがわかりました。初めて議会を見学できたことが印象に残っています。北陸銀行さんではローンの講義を受けて、実際にローンを組めるのかを自分たちで計算して判断する作業が実際に銀行員になったみたいで楽しかったです。(1年)
24. 富山県庁では、建物に点字ブロックや車いすが通れる広さのスペースがあったところが印象的でした。また、冊子にふりがなや音声コードもついており、様々な人に配慮されているのだとわかりました。あいの風とやま鉄道株式会社では、入社後まずは現場の仕事をすることを知りました。もちろん事務仕事も存在しますが、駅で働く方も多く、泊まり勤務も行うと聞きました。他の業界と異なる部分もあり、興味深いと感じました。(1年)
25. 富山県庁の方では歴史ある建造物の中に足を運ばせていただき、若い社員の方々とフリーワークのお時間をいただき、答えにくい質問も気さくに受け答えしてくださり、就活への不安という部分を大きく払拭できたとても良い時間だった。そして、あいの風富山鉄道では、想像していた業務とは違うデスクワークなども存在し、会社の設立が若いこともあり設立当初から業務に携わっている方のお話も聞けてとても印象深かった。(2年)
26. カラフルカンパニーでは、企業のことだけでなく広告業界についても詳しくお話をさせていただいたことが印象に残りました。また、新規来店者数を増やすという課題でグループワークに取り組むことはあまりない経験だったため新鮮に感じました。アスパコミュニケーションズでは、オフィスの様子を間近で見ることができたことや、様々な部署の社員の方々に話を聞くことができたことが印象に残りました。(4年)
27. カラフルカンパニーさんは名前からも分かる通り、ざっくり言うとみんなをハッピーにしようという企業理念で、それは明るい雰囲気だった社員の方にも表れているのだろうと印象を受けた。また、問題解決のグループワークで、最後にある社員さんの実際の案を例に解説してくれたが、依頼主とターゲットのどちらにも寄り添った解決策で、その想像力に驚かされ、本当にハッピーにしたいと言う気持ちが現れていると感じた。(1年)
28. 仕事の内容は全く違いますがどちらの企業も社会や誰かの為に役立ちたいと考え、仕事をなさっているなど感じました。また、時代や顧客のニーズに合わせてサービスや情報の提供方法を変えろといった柔軟性や対応力も大切であると思いました。印象に残ったことは個人として任された仕事の責任を負い、やり遂げることが社会に出て必要なスキルであるということです。そのため学生時代から柔軟性を身につけておきたいと思いました。(短大1年)
29. 訪問した企業は二つだけだったが、その二つだけでも企業の個性が感じられた。訪問する前はYKKをメインで見ようと考えていたが、サンリッツに訪問した際に、働いている人同士の関係性が良さそうで、親身に話を聞いてくださったり、答えづらい質問をした際にもはっきりと答えてくださったりしたことがとても印象に残った。二社とも研究など理系がメインだが、文系からでも人事や経理などとして就職している人もいると知った。(2年)
30. YKKは、学部卒でも理系の学生で就職している人がいることが印象に残っている。私は大学院に行けなさそうで、そうなったら文系の学生が行く会社での就職しか無理なのかなと考えていた。だから、今回の企業訪問で、就職の幅が広がったように感じている。サンリッツについて印象に残ったことは人柄の良さと雰囲気の明るさだ。面白い方が多く雰囲気がいいため、ここを選んだという方がいらっしゃったりして意欲的に仕事に取り組めるのではと感じた。(2年)

【今回の県内企業訪問に参加して得たこと。(学生の参加レポートから抜粋)】

1. 就活の話をもとに受かった経験者から聞くことができたため、対策すべきことなど、ためになるアドバイスを聞くことができた。例えば、試験勉強を始めた時期やどのくらいの企業インターンや合説に参加したかなどを知ることができて自分が学生の時の計画を見直すにおいて勉強になった。また、ほかの学生と合同で行ったことで、自分が思いつかなかった疑問への答えも聞くことができて、今後、説明会などに参加する際の参考になった。(1年)
2. 自分と歳の近い人と話す機会も沢山あったので、自分の近い将来の話が聞けて、将来のイメージをより明確に掴むことが出来ました。大学生の間、1年生の間はこういったことをしていた、またはした方がよいなどの具体的なアドバイスをもらえました。今まではぼんやりとしか考えられなかった将来のことについて少し分かってきて、これから何をすることも少しずつ見えてきたこと

- は大きな収穫だったと思います。(1年)
3. 自分が就職して仕事を続けていけるかどうかは、仕事への適性ややりがいなどももちろん関係するが、職場の雰囲気や人間関係がとても重要だと感じた。そしてそれらは、インターンシップに行ったり、このような機会に参加したりしないと分からないと思った。また、実際に働いている方々は、「大学生の間にいろんな経験をしておいたほうが良い」と皆さん言っていて、今しかないこの時間を大切に使う必要があると改めて感じた。(3年)
 4. 今回初めて企業訪問して、実際のデータセンターや工場を見学させてもらって、人事部の方から就職活動や入社後にはどのような仕事をするのかなどのお話を聞くことができ、特に朝日印刷様の自己PRは自然体で自分の言葉で自分のことを伝え、個性があればそれも言うといいというお話が非常にためになりました。入社することがゴールではなく、入社後のイメージを知ることができたので今後活かしていきたいと思いました。(1年)
 5. まずIT企業と製造業の仕事のイメージが具体的に became ことです。実際に社員の人が働いている所を見て、機械が目の前で動いているのを見て曖昧だったものが明確になり、将来のビジョンが見えてきました。次に就活が何たるかが明瞭になったことです。今まで就活は3年後でまだまだ先だと思っていましたが、大学3年生から始めると知り驚きました。このような事を知れたのは県内企業訪問に参加したからです。(1年)
 6. 今回の県内企業訪問事業に参加したことで、実際に自分が就職すると言う状況になった時のことを想像することができました。訪問していなかったら自分の勝手な仕事への先入観ができてしまったと思います。また、仕事のやりがいを見つけることの重要性を知りました。やりがいがないと真面目に仕事をしようと言う気持ちは続かないと感じました。訪問先の企業の方々は自分の仕事に誇りを持っているのが羨ましいと感じました。(1年)
 7. ゴールドウインへの訪問では、企業への理解が深まると同時に、将来この会社で働きたいという思いが一層強まった。また、富山銀行の訪問では金融業界への理解を深めることができた。自分が企業選びにおいて、何に重点を置いているのかを明確にし、今後の就職活動において重要となる「就活の軸」を見つけることができた点が、今回の県内企業訪問で得た最大の成果である。(3年)
 8. 学生の間でやっておいた方が良くいこととして、「人とたくさん関わること」と「自分の引き出しを増やすこと」をアドバイス頂いたので、これから短期のアルバイトに挑戦するなど自主的に行動していきたい。そして、就活や将来のために自分の知見を広げたい。(3年)
 9. 今回の企業訪問ではゴールドウインと富山銀行に行きました。その中での質問をする機会ではいろいろな勉強になる話を聞くことができました。また企業訪問では富山大学の学生と一緒に参加をして、グループワークの中ではコミュニケーションをとる機会があり、勉強になることがたくさんありました。この企業訪問でいろいろな人と話す機会がありいろいろな考え方など参考になる話がたくさんありました。(短大1年)
 10. 今まで持っていた先入観が実際に見学することで取り払われたり、今までなんとなく興味を持っていた仕事について話を聞き、職場を見ることでより興味が深くなったりして、良い経験になったと感じました。また、企業に行ってみて働いている人の顔が楽しそうだったり、雰囲気が良かったりして、仕事は大変なだけではないということが自分の肌で感じる事ができたことが、今回参加したことで得られたことだと思いました。(1年)
 11. 今回の企業訪問で社会人としての立ち振舞や考え方を学べたと感じています。学生と社会人の大きな違いの1つとしてお客様や営業先といった相手と関係をもつことがあり、それらでは口調や立ち振る舞い方などを改める必要があります。その中でもプレゼンはとても重要であると思っています。学生のうちからそれらをたくさん経験しておき、社会人になってすぐに対応できるようになりたいと思いました。(2年)
 12. 訪問するまでは企業への先入観があり、堅苦しいイメージがありましたが実際に働いている方のお話を聞き、アットホームな一面があることを知りました。また、部署によってする仕事や時間が全く違うことがわかりました。それぞれの部署が支え合って一つの組織になっていることを実感しました。(短大1年)
 13. 今回の企業訪問を通して、実際に企業見学に参加することの大切さを実感した。見学前に訪問先の企業について調べてはいたが、実際に社員さんからお話を聞くことで会社内部の雰囲気であったり、詳しい業務の内容などであったり、会社のホームページなどでは知り得なかった様々なことを知ることができた。そのため、就職活動前に積極的に企業に訪問してイメージのギャップを

埋めていきたいと思う。(1年)

14. 専門的な資格は入社してからとることができることを知れたし、ITパスポートや簿記や語学、パソコン等の資格は入社前に取っておくといろんな仕事で活かせることがわかりました。また、ジョブローテーションに関して、いろんな部署を経験することで自分の得意な部署を見つけることができたり、他部門の業務を理解していることで部門間の連携が取りやすいなどのメリットがあることを知り、今までよりも良いイメージに変わりました。(3年)
15. 実際に企業訪問をしてみて、ウェブサイトを通して得た情報よりも働いている方に聞く方が説得力があり、実際企業訪問をしないと知りえない情報が多くあった。特に採用担当の方に質問できる機会があるためどういった人を採用したいか等の理想像を聞くことができ、今回聞いた話はインターンシップ全般で生かすことができる。こういった貴重な経験をするためにも、分からないことは積極的に質問することが重要だと思った。(1年)
16. どちらの企業もジョブローテーションの制度を取り入れており、個々人のスキルの幅を広げられる環境が整っていることや、どういった資格や学生の時代にどんなことをされていたか、業界研究のやり方、どうしてこの企業に就職したかなど、実際にその場所に行ってみると分からないことを聞いた。今の時代は、VUCAの時代だからこそ様々なことに挑戦していく企業を目指している会社が増加していくことを学びました。(3年)
17. 自分自身が働くイメージが少し沸き、就職活動に対して積極的に自ら行動をおこす大切さを学ぶことができました。また、人事部の方から採用する人の人物像やエントリーシートの書き方を聞け、自分のためになりました。座談会では、一年生のうちにたくさん遊んで多くの体験をしてほしいとアドバイスをいただきました。遊びも勉強のひとつだと知り、一つの専門分野を極め、自分の強みにしていきたいです。(1年)
18. 今回の企業訪問ではOBやOGの方々から学生時代にしておけば良かったことや持っていれば便利な資格、辛い時期をどうやって乗り越えたかなどを学ぶことができた。また、一見個人作業に見えるような仕事でもコミュニケーションが大事でありチームワークがとても重要となってくること、そのチームワークを高めるために重要としていることなど、就職に役立つことから社会人になってから役立つことまで幅広く学ぶことができた。(1年)
19. 自分が思っている以上に就職の選択肢は多く、安易に絞り込んで、惰性で就職してしまうと大変なことになることが、社員さん方の体験談や仕事ぶりから見てわかった。(1年)
20. 企業説明会ではわからない、企業の建物や社員の雰囲気などを知ることができました。建物や食堂、実際に働いているところ、会社周辺などを見ることで実際にその企業で働いた時のイメージをすることができました。(1年)
21. 今回の県内訪問に参加して富山県には私たちの暮らしを多くの場面で支える様々な製品を作っている企業があるとわかった。そのような企業では製品を考える人、実際に作る人など多くの仕事が存在し、多くの人が働いていることを知った。私が就職する際には自分にはどのような仕事に向いているのかよく考えようと思った。そして働き出したらその会社や社会に貢献できるように一生懸命働こうと思った。(1年)
22. 企業訪問に参加したことで、自分の将来を見据えた考えを持つことが、より出来るようになったと感じます。2つの企業を訪問してみて、仕事内容も社内の雰囲気もとても大きく違いましたし、その訪問で感じた事もそれぞれ大きく違います。自分に合った企業はどのような企業か、自分が入りたいと思うのはどのような企業なのかを学ぶ良い機会でした。(短大1年)
23. 企業訪問に参加して、業界や企業の実際の中身を学び、非常に貴重な体験ができた。現場の社員の方々の働き方や職場の雰囲気を直接感じる事ができ、自分のキャリア選択におけるイメージを持つことができた。また、企業が求めるスキルや資格についても理解が深まり、今後の自己成長に向けた方向性を再確認する良い機会となった。今後の就職活動への材料になり、就活の軸が定まった。(短大1年)
24. 会社によって働くときの環境や雰囲気、福利厚生や転勤の有無などばらばらでそれぞれ特徴があるのだとわかった。もし就活をして会社を選ぶ際は自分のこれからのライフプランや自分が持っているスキル、譲れない条件などと照らし合わせて自分に合う会社を見つけなくてはならないのだと思った。(1年)
25. 企業訪問をして得たことは、自分で生で見えて聞かないと分からないことが沢山あるんだ、ということです。今回の企業訪問では社員さんに質問をしたりすることができました。産休育休や仕事のやりがい、ここは大変だという部分を聞いてこれは実際に聞かないと知ることがなかった部分

- だろうなと思いました。また、社内の雰囲気なども自分で見ないと分からない部分だとも思いました。(1年)
26. 今回の企業訪問に参加して、「企業」というものがどのようなものかを知ることができたと感じた。実際に企業を見学し、さらにそれぞれの企業の社員さん達から貴重なお話を聞くことができ、企業に対するイメージがより鮮明になった。また、社員さんの話を聞き、会社選びは重要な点ではあるが、大学生の間に何をすることも重要であるということを知ることができた。将来後悔しないよう、今から様々なことに積極的に取り組んでいきたい。(2年)
27. 就活をする上で今まででは年収や福利厚生を基準に企業を探すことが多かったが、人間関係や社内の雰囲気が自分にとって重要だということに気がついた。それらを知るためにインターンシップに参加することの重要性を感じた。また、転職した人が多数おり、今の時代ひとつの仕事にこだわらず、まずは、自分のやりたいことをしてもいいんじゃないかと思わせられる企業訪問だった。(3年)
28. 今回参加して、ホームページやパンフレットでは知り得ないようなお話を聴くことができたため、情報を目と耳で得ることができる現場に実際に訪れることの大切さを学んだ。また、これから進路を決めていく上で、将来自分がどんな働き方をしたいかについてのイメージを得ることができた。(1年)
29. 講義や企業パンフレットだけでは分からない、現在働いている人の声を聞くことができ実際に雇用されてからの働き方や私生活との兼ね合いを正直な言葉で聞くことができ、もし自分が働いたらの想像がしやすくなった。今回市役所を目的にこのコースを選んだが、就職の視野に入れていなかった北陸銀行さんの話も聞くことができ、民間企業への就職も考えてみようという就職活動に対する視野が広がった。(3年)
30. 私がこの企業訪問で得たことは、この企業訪問をしなければできなかった体験を経験できたり、知ることができなかったその職の特徴や制度を知れたということである。(短大1年)
31. 実際に職場を見学したことで、パンフレットやホームページでは分からなかったことを知ることができました。職場の雰囲気はもちろん、先輩方の座談会では詳しい業務内容を知りとてもいい経験となりました。(短大1年)
32. 若い職員さんと直接話を聞くことで仕事内容だけでなく学生時代のことや、就活についても聞くことができました。その中でもやりがいでだけでなく、苦しいことや大変なこともあると聞いて働くって本当に大変だと身にしみて感じました。また、表面上だけでは分からない企業の素敵な部分を知ることが出来たことも参加して良かったと思いました。(1年)
33. 自分で企業を調べると訪問するのでは、得られるものの量がとてつもなく違うことを学びました。企業に関することはもちろんですが、些細なことでも質問できて良い機会となりました。就職活動についても色々答えてくださり、みなさん共通して「他の人と差別化できるよう、大学生のうちにたくさんの経験を積み、趣味や個性を見つけておくこと」とおっしゃっていました。今後は興味のあることに何でも挑戦していきたいです。(1年)
34. これまで私は何度か企業見学する機会があったが、現場で働いている社員の生の声を聴くことができたのは今回が初めてであり貴重な経験になったと思う。特に、就職活動での自己アピールや企業を見定める基準などについて大変参考になった。また、社員の方が入社した経緯について様々なきっかけがあったが、企業を比較する際には自分にとって譲れない条件を持ち、その会社や業界を詳しく調べておくことが重要だと学ぶことができた。(1年)
35. どのような会社を選ぶかは将来、自分がどんな生活を送るかに繋がるため、業務内容だけでなく、福利厚生や会社の立地、人間関係、社内の雰囲気などを見るのが大事だと分かった。またそのためにも、実際にその企業を見学したり社員の方に質問したりすることがとても重要だと実感した。今回2社を実際に見学してみて、これまで漠然としていた自分の将来が少しだけ想像できるようになったので参加して本当に良かったと思っている。(1年)
36. 私は今回の県内企業訪問に参加して、経験の大事さを知ることができました。二社の担当の方も揃って言っていたように、例え興味のない職種であったとしても会社とは何か、仕事とは何かについて様々な角度から学ぶことができると知れました。もう一つ、学び得たことがあります。それは、入社後の円滑なコミュニケーションのために学生の頃に接客業をするべきということです。これを踏まえてアルバイトを選んでいこうと思いました。(1年)
37. 事前の企業研究をすることで、グループディスカッションや質問の質をより良く出来る事を強く感じ、実際に資料だけでなく行ってみることで新しい視点や、企業の求める人材や、雰囲気、環境

下を知ることができました。また、実際に社員に質問したり話すことで、また、質問した際の相手方の反応をみられたことで、資料からは得られない情報や実態を知ることができた。(1年)

38. 1日で2社の企業に訪問して企業の方から説明を受ける事ができる企画というのは、なかなか無いので参加する事ができて良かったです。業界の異なる2つの企業を訪問し、会社の概要や雰囲気、福利厚生、使用しているツールなど沢山の事を見て聞いて質問もして知ることができました。(短大1年)
39. はじめて参加した就活関係のイベントだったためとても緊張していたが、率直な疑問や聞きづらいことなどを聞くことが出来て、とても参考になった。また、企業によって業務や方針だけでなく、働いている人の雰囲気などが大きく異なると身をもって感じる事ができた。また、学生のうちに英語の勉強やいろんな所へいくなど、時間があるからこそ出来ることを進んで行くと良いというアドバイスもいただいた。(2年)
40. 先輩社員さんからお話を聞く機会がありましたが、企業さんから聞く説明とは違い、社員さんから会社に対する率直な感想や就職する際の決め手など本音でお話することが出来ました。
41. また企業見学をして社内の雰囲気や社員さん同士の交流を間近でみる事ができ、雰囲気を感じることが出来ました。就職する際は実際に企業にいて自分の目で確かめてから決めたいと思います。(1年)
42. 企業訪問では、実際の業務環境や職場の雰囲気を直接体験できた。社員の方々から仕事に対する熱意や姿勢を聞くことで、業界の現状や求められるスキルが具体的に理解することができた。また、職種やキャリアパスについての詳細な説明により、自身の将来の働き方や目標設定に役立つ貴重な知見を得られた。自分の質問にも丁寧に答えてくださって自分の悩んでいたことがスッキリしたように感じられた。(2年)

【今後の就職活動に対する思い。(学生の参加レポートから抜粋)】

1. 仕事内容だけでなく、試験や面接についてなどもたくさんの方を教えていただいたので、それをこれからの就職活動に活かしていければいいと思いました。そして、後悔の無いように、視野を広げて最終的に選択ができれば良いと感じました。(3年)
2. 今回の経験は、就職について深く考えるきっかけとなりました。私は今将来何をしたいのか全く分かりませんが、何も決まっていなからこそ様々な職業に視野を広げ、興味を持つことができると気づきました。このような訪問事業や説明会などに積極的に参加して魅力的な企業を見つけたいです。また、様々な経験をした分自分の力になり就職活動にも役に立つと知りました。アルバイトやサークルなどで新しいことに挑戦したいです。(1年)
3. 地元の企業の話を知ることができたので、地元に貢献したい私にとってありがたい講義でした。1年生なので就職についてはあまり考えていなかったけれど、講義や訪問を通して就職を見据えた学びをしていく必要があると思いました。私は応用化学コースなので、今は化学系の企業に就職したいと考えています。来年、また別の企業があればぜひ参加したいです。(1年)
4. まだ1年生なので就職活動は少し先ですが、資格をとったり他に気になる企業に行ったりして働くイメージをつけようと思いました。まだ知らない企業の方が多いと思うので様々なサイトで調べてみようと感じました。事前にマナー講座を受けたのですが、企業の方がカジュアルな雰囲気だったので実際には気にすることがあまりなかったのですが面接や個人でインターンシップに行く際はマナーや礼儀についても気をつけたいと感じました。(1年)
5. 今回の企業訪問で実際に企業に行くことの大切さを学んだため企業選びの際には実際に見学して雰囲気を見るようにしたい。また企業によって福利厚生や休暇の仕組みなどが大きく異なっていることが分かったのでそこも気にして企業を選ぶようにしたい。また面接の際には自分のありのままを自分の言葉で伝えることが大切とのことだったので、自分の意見をしっかり持って、自分の言葉で話せるように意識して生活していきたい。(1年)
6. 今回の企業訪問に参加させていただき、企業選択の幅が広がり、自分の未来と向き合う良い機会になりました。就職活動というのは、今後の自分の将来を決める大切な時間だと思います。そのため、志望の企業の事業内容や求める人物像等を調べ、必要な対策を行い、後悔のないような就職活動を行いたいと思いました。(1年)
7. 自分の就活の軸をしっかりと立て、ギャップやミスマッチのないよう慎重に企業選びを行っていきたく思った。そのためにしっかりと情報収集を行い理解を深めていきたくと思った。また、残りの学生生活においては多くの人と触れ合い、多様な価値観と触れ合うこと、旅行などアクテ

- イビティの経験を増やすことで、入社後も気後れしないよう話の引き出しを増やせるような経験や知識を身につけていきたい。(3年)
8. 今後は、この県内企業訪問以外にもインターンシップなどにも参加して、自分が知る企業の幅を広げていきたいと感じた。また、企業を見るだけでなく、自分のことも見つめ直し、自分が本当に興味があることが何かを知っていききたいと感じた。少しでも興味を惹かれることがあれば、何でも積極的に参加し、就職することがゴールではなく、就職した後のことも見据えて様々なことを経験していききたいと思った。(3年)
 9. 今回の企業訪問に参加してそれぞれの会社で先輩方のお話を聞く機会があり、その会社に就職した理由や学生の間でやっておいた方がよい事など将来の為になることをたくさん聞くことが出来ました。その中で1番心に残っていることは、迷ったらやってみる・行ってみるということを常に意識して残りの学生生活を就職活動に活かされるようなものにしていききたいと思います。(短大1年)
 10. 自分が、どのような業界に入りたいかを見つめ直し、モチベーションを保てるような仕事は何かを考えることが最も大切だと感じました。自分の好きなことや、それを仕事にしていきたいと思えるようなものを探していききたいと思います。インターンシップに参加するなどして、その会社で働きたいと思えるような社風の企業を見つけることができれば良いと感じました。アンテナを高く持ち、どのような業界があるのかを学んでいきたいです。(2年)
 11. 将来後悔しないよう、まだ1回生だからと油断せず、就職活動に向けてできることは今のうちにできるだけたくさんやっておきたいと思った。また、自分にどんな職業が向いているか、自分はどんなことをしたいのかよく分析し、自分に合った企業を見つけたい。そのためにも、学校で行われる就職活動に関するイベントだけでなく、自主的にイベントやオープンキャンパス、インターンシップなどに参加したい。(1年)
 12. 県内企業訪問に参加する前は、就職活動は2年生になってからでいいやと思っていました。しかし、今回参加してその意識が変わりました。就職活動をいち早く始めようといういきになりまし。まだ業種や企業を絞れていませんが、少しでも興味ある業種や会社のインターンシップに積極的に参加して行きたいと思います。また、今回で得た企業の見つけ方を使って改めて企業を探して行こうとおもいます。(1年)
 13. 実際に会社に行き生の声を聞いたことで、業界や職種に対するイメージが変わった部分があったので、こうした活動は大事であることがわかりました。また、先輩社員との座談会で面接やES対策について聞いた際に、自分がどういう人間なのかを言えるようにしておくとおっしゃっていたので、自己分析をきちんと行い、業界研究を通して自分とあった会社を見つけ、後悔のないように就職活動をしていきたいです。(3年)
 14. 1年生からインターンシップに参加している生徒がいる中で、自分は3年生になってからインターンに行き始めたので、準備が遅かったけど、焦らずに自分の就きたい業種に何度も訪れて業界研究を徹底的に知り、深い質問が出来るように行動することが大事だと学びました。また、これだけでなく勉強や資格やサークルやゼミ活動にも力を入れつつ、工夫をしてより深みのあるそして自信を持って話せるようにしたい。(3年)
 15. 先輩社員の方のお話から、今の段階で専攻分野の職種にこだわる必要はなく、社会には色々な選択肢があることを知った。そのため、私も専攻の情報系や現在の興味がある分野だけに注目して仕事や業界の範囲を狭めるのではなく、今回の経験を生かしてIT業界以外にも情報を生かせる職種を探してみるなどの工夫をして、広い視野を持って就職活動を行いたいと思った。また、3年生になる前に色々な業界や企業について調べたいと思った。(1年)
 16. まだ大学1年生であるということもあり、正直就職活動についてはまだほとんど考えていなかったが、今回参加してみて時間のある今、出来ることをやっておこうと思った。資格の勉強ももちろん、私が特にしようと思ったのは自己PRをするために何か自慢出来ることを作ることだ。社員さんの話で人事の興味を引く人になれるというアドバイスをいただいた。何か1つでもPR出来るものを作り、就活活動にいかせるように行動していきたい。(1年)
 17. 就職活動は自分のキャリアを築くための重要なステップだと思います。企業訪問を通して業界や職種についての理解を深めると同時に、自分自身の価値観やスキルを見つめ直す良い機会だったと感じます。この機会から自分に合った企業はどのような企業か、自分が入りたいと思うのはどのような企業なのかを考えて、自分の良いキャリアのために就職活動を一生懸命に取り組みたいです。(短大1年)

18. 今回の企業訪問は、県内企業を知る貴重な体験であったと感じた。就職活動を行う際、様々な企業について調べることになる。それを踏まえると、今回の企業訪問で、企業とはどのようなものかが少しではあるが理解できたと感じた。加えて、一部の企業だけではあるが就職活動の前に知ることができた。これらのことは、自身が就職活動を行う際に役に立つと私は考える。この体験を将来の就職活動に活かしていきたい。(2年)
19. 今まで公務員になりたいと焦点を絞ってしまっていたが、今回の企業訪問に参加して、他にも色々な興味深い職業があるということが分かったので、将来自分自身が納得いくような仕事に就くことができるように積極的に調べていきたいと思った。また、自分が何を大切にしていきたいかが仕事の決め手になると分かったため、大学在学中に様々なことに挑戦して、確立していきたいと思った。(1年)
20. 今後、さまざまな企業を調べていくことになると思うが、名前を知っている企業や、仕事内容が少し見える企業こそよく調べてみようと考えた。見えるものだけがその企業のすべてではないということを実感したからだ。また、今のうちから、このような企画に積極的に参加しようと考えた。今回の県内企業訪問でも、インターネット等で調べるだけでは得られないことが多かったからだ。(2年)
21. 自分の将来に強く興味と意欲をもって、妥協せず就職活動をしていきたいです。そのために、自己分析や企業分析など怠らず、この企業訪問の経験や学校で学ぶことを最大限活用できるようになりたいです。(短大1年)
22. 私は1年生で就活なんてまだまだだろうと正直思っていたが、今回企業体験に参加させていただき今から頑張らなくてはならないことだと強く感じました。就活には大学時代に頑張ったことや経験したこと、資格なども生かされるとおっしゃっていました。今から出来ることをコツコツしていき自分の納得のいく企業を見つけ、もっと将来について考えていきたいです。(1年)
23. 私は教育学部に所属しているのですが、教師になる以外の選択肢もあると考えています。企業訪問をしてみて、公務員になるのも、会社に就職するのも、可能性として充分にあると感じました。視野を広く持って様々な企業を見て自己分析をし、自分にとっての就職活動の軸を定められたら良いと思います。また、経験を積んだり資格の取得をしたりすることにも意識を向けたいですが、ひとまずは単位の取得に努め、学業に励みたいです。(1年)
24. まだ2年生ということであまり実感が湧かないことではあったが、この企業訪問を通して就活に対する向き合い方、そして考え方を知ることができ、モチベーションが上がるとともに、より多くの企業様の説明会などにも参加したいという気持ちが芽生えた。本当に自分がしたいこと、それがわからなくても仕事の中で見つけていく楽しさというものを実際に働いている方々から感じ取ることができたので前向きな気持ちを持つことができた。(2年)
25. 私は就職まであと1年以上ありますが、早い段階でいろんな企業さんを見て就職活動に生かしたいと思いました。今回は1コースだけでしたが、このような機会を逃すことなく次もいろんな企業に訪問して自分の納得がいくような就職をできるようにしたいです。(2年)
26. 私はまだ1年生だから就職活動は早いだろうと思っていたが、今回のような貴重な体験を通して働くとはどういう事なのかを現場を見学して感じることができ、イメージと違うことがほとんどだった。そのことから、企業や業務内容についてよく理解していない状態で就職先を決めてしまわないように、このような機会があるという情報を取り逃がさないようにしたいと思った。(1年)
27. 就活となるとどうしても身構えてしまったり、自分をよく見せないといけなそうと考えたりしてしまっていたが、自分を隠すことなく、自分が働きたいと思う企業に自分の個性を認めてもらった上で選んでいただくことが大事だと感じた。簡単ではないと思うが、自暴自棄になったり焦って選択したりして後悔のないように就職活動に取り組みたいと思った。またそのためにも、学生の間に来ることに全力で取り組みたいと思った。(2年)
28. 就職活動において適性以外にも考慮すべきことを学ぶとともに、イメージとのギャップを知り、表計算を習得する必要があることも知った。企業の規模も大小それぞれのメリットを理解したため、企業選びの視点が広がった。また、自分が選ぶ側ではなく選ばれる側だという認識を忘れずにスキルやマナーの向上に努めたいと思った。(2年)
29. 私はまだ大学1年生だから就職活動なんて先のことだと思っていた。しかし、今回県内企業訪問に参加してみて就職活動はそう遠くなく他人事ではないなと気づくことができました。企業ごとにさまざまな特徴があるということが分かったのでまだ時間のある今のうちに、自分の興味のある分野だけではなく視野を広げてさまざまな企業について調べ、就職に役立つ資格や知識を

積極的に得ていきたいと思いました。(1年)

30. 就職活動は、自分の将来を形作る重要なステップだと考えている。単に仕事を見つけるだけでなく、自分の価値観やスキルがどのように社会に貢献できるかを探る機会でもあるので、企業との対話を通じて、自分に合った環境や働き方を見極めたいと思っていた。今回の企業訪問で就職活動へイメージしやすくなったので、来年から始まる就職活動に活かしていきたいと考えている。

(2年)